

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
宇和島南中等教育 学校通学者への交 通費補助について	市立中学校と同じように市から交 通費を補助してもらえないか。	<p>縦割りのつもりはありませんが、県立中学校に対しては、県教育委員会との調整が必要であったりと、市教育委員会の中で決定し、市の判断で対応できる市立中学校と全く同じというわけにはいかず、それぞれに通学する生徒の皆様に対する支援策等についても様々な協議・調整等が必要です。</p> <p>子育ての観点から、本年4月より給食費補助を県立中学校（宇和島南中等教育学校）にも拡大しましたが、やはり調整には時間がかかりました。交通費については、給食費以上にハードルが高いと感じています。</p>	<p>通学費補助につきましては、市立小中学校の校区内における遠距離通学児童・生徒を対象として実施しており、その他の児童・生徒については補助できない状況です。（市立小中学校の児童・生徒でも校区外通学している場合は補助していない状況です。）</p>	教育総務課

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
城南中学校前のバス停について	城南中学校の前にバス停があるが、下校時のバス待ちの生徒が、雨天時には屋根に入りきれない状況も目にする。多くの生徒が雨に濡れながらバスを待つことになる。早急に屋根を拡張してほしい。	宇和海中学校を城南中学校と統合する際にバス停整備の要望があり、実現したのだと認識しています。天候等によっては、バス停屋根の延長が十分ではないということです。現況の確認と今後どのような対応が可能なのか教育委員会に確認したいと思います。	バス停設置者である宇和島自動車に確認したところ、バス停は歩道に設置しており、歩道幅員を確保する必要があるため、道路管理者である国土交通省の許可が必要となり、現在の設置場所はこの許可が得られる場所での設置であるため、これ以上の拡張は難しいとのことでありました。	教育総務課
はまゆう寮への入寮対象区域の拡充について	はまゆう寮に空き部屋があるなら、離島の生徒だけでなく、遊子地区の生徒も入寮させてほしい。市内に家を用意している保護者もいる。	はまゆう寮は、将来にわたり入寮される生徒の人数を予測・想定し、部屋数等を決めましたが、実際には空室があるということは認識しています。 空室があるなら、当初の条件以外の生徒も入寮させて効率的に運用すべきではないかという御意見については理解できますが、この施設の本来の目的等々、様々な事情があることも含めて、改めて教育委員会に確認させていただきたいと思います。	はまゆう寮は、通学困難な地域の中学校生徒のために整備したものであり、通学困難な地域としては離島と蔀淵地区を定めて、この地域を入寮の対象地域としていますので御理解ください。	教育総務課 学校教育課

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
税金、公共料金等のクレジットカード払いについて	自動車税（県）はインターネットを利用してクレジットカード払いができるが、軽自動車税、水道料金などの公共料金も同じようにしてほしい。ふるさと納税はできているので、そんなに難しいことではないと思う。	水道料金等の公共料金をクレジットカード、コンビニ決済ができるよう関係部署と協議をしましたが、導入するタイミングを失ってしまっているということでした。公共料金のクレジットカード、コンビニ決済は、市民の皆様のお支払いの利便性を向上させますので、導入の可能性について検討していきたいと思います。	税納付でのクレジットカード決済については、今年度（30年度）より県が導入しており、その状況を見定めていきたいと思います。コンビニ収納につきましては、導入に向けて更に調査・研究を行っていききたいと思います。水道料金のクレジットカード、コンビニ決済につきましては、ともにお客様の利便性向上につながるものと理解していますが、代行手数料やシステム改修等、一定の費用がかかるため、現在、導入の可能性とタイミングを検討しているところです。	納税課 水道局

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
<p>宇和海中学校の統合先を城東中学校へ変更するについて</p>	<p>はまゆう寮については、中学生にこだわらず、入寮の範囲を高校生まで認めていただきたい。宇和海中学校が統廃合され、宇和海地区の保護者は、生徒の塾や部活動の送迎で宇和海地区と市中心部を1日に3往復しているケースもある。宇和海地区の保護者も共働きが多いので、生徒の送迎に時間をとられると家業にも影響が出る。</p> <p>それが無理であれば、宇和海地区からは城南校区ではなく、城東校区の方が距離的に近い。また、城南校区で生徒のための賃貸物件を探しても適当な物件が少ない。城東校区の方が賃貸物件が探しやすいので、宇和海地区を城東中学校区に変更してもらうことはできないか。</p>	<p>はまゆう寮の最大人数を考えた場合に、現時点では空きがありますが、すべてにおいて対応できるものではありません。離島の保護者からも「離島出身高校生のための市からの住宅費補助金では全く足りない」「このままでは、子供の高校進学を迎える時期が、離島に残っている保護者が島を離れてしまうきっかけになっている」と言われています。</p> <p>個人的な見解ですが、はまゆう寮については、建設を検討する際に、将来の見通しを考慮し、当初から入寮対象を中学生だけでなく高校生にも拡大することなどの議論がなされたのかと思うところはあります。</p> <p>現在、旧宇和海中学校区の城南中学校区から城東中学校への変更については、御指摘のとおり、賃貸物件の数は圧倒的に城東校区の方が多くという印象を保護者の方がお持ちであるという御意見もお伺いしますが、校区変更は難しいと思いますので御理解ください。</p>	<p>中学校は義務教育のため、学校設置者が生徒の通学手段等を確保する必要がありますので、城南中学校の通学困難な地域の生徒のために、はまゆう寮を整備しています。また特例措置として、入寮対象地域の宇和島南中等教育学校の前期課程の生徒は中学生相当ということで入寮していますが、高校の寮とは異なりますので、寄宿舍の入寮範囲を高校生まで拡充することは困難と考えています。</p> <p>校区変更につきましては、今後の宇和海地区の小中学校統廃合を検討する中で、中学校区変更の可能性も否定はできませんが、現時点では難しいと考えています。</p>	<p>教育総務課 学校教育課</p>

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
<p>外国客船のおもてなしについて</p>	<p>外国客船が多く寄港している。港を整備しておもてなしに力を入れて、リピーター率を上げるようにしてもらいたい。</p>	<p>本市には今年も外国クルーズ客船が10隻来港します。その中で、広島～鹿児島を結ぶ人気の航路の途中に中継港として来港していただいていると伺っています。クルーズ船の船長とも話をする機会がありましたが、「船が九島を通過するあたりから、目前に突然城下町が広がり、その中心に城山があり、そこに宇和島城が存在感を示している」という風景が、外国人にとってはたまらない日本の原風景のようです。</p> <p>そのクルーズ船のお客様は、下船後のオプション観光ツアーとして、遊子水荷浦段畑の見学や土居真珠での真珠体験などをされます。またその滞在時間は概ね6時間程度になります。現在、取り組んでいただいているおもてなしとしては、港への牛鬼展示や、甲冑武者との写真撮影、また宇和島東高の生徒さんが、外国のお客様のお名前を漢字で当て字にし、習字を書いてプレゼントすることなどがとても人気です。また、港での物販として、飲食物は用意していませんが、真珠などの免税店を出展しています。</p> <p>現在来港いただいている外国クルーズ客船には、日本の数ある港の中で宇和島を選択いただいているので、今後もおもてなしや消費拡大には力を入れていきたいと思っております。</p>	<p>宇和島港でのおもてなしについては、商工会議所・観光物産協会ほか多くの方々に御協力をいただきながら取り組んでいます。また 外国船の招致については、商談会などへも参加し、宇和島港の売り込みに努めているところです。</p> <p>おもてなしは誰でも自由に参加いただけます。市民の皆さま一人ひとりが歓迎の気持ちを持っていただくことが大事だと考えますので、お時間の許す方ぜひ御参加ください。</p> <p>(商工観光課)</p>	<p>商工観光課 建設課</p>

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
農水産物の物流中継地について	<p>農水産物の物流の中継地（ヘリポートのようなもの）を宇和島に作ってほしい。簡単に農産物を送れる体制があれば、もっと物が売れると思う。また、南海トラフ地震が発生しても、中央から物資を運ぶのに役に立つと思う。</p>	<p>私も前職で水産会社の社員として水産物の物流に関わっていた者として、物流の中継地があればと思います。また、大きなドローンでという発想も非常に夢があると思います。</p> <p>本市では水産業は基幹産業ですの で、水産物の物流中継地としては全国でも規模は大きい方であろうと思います。中継地というまでの荷物のロットがあるのかはわかりませんが、今後、様々な農水産物が集積・中継される物流拠点ができることで、そこからの所得向上にもつながればと思いますので、努力したいと思います。</p>	-	<p>農林課 水産課</p>

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
<p>漁業の活性化について</p>	<p>養殖を始めて55年くらいになる。もっともっと養殖が盛んになるには、国会議員を地区の忘年会などに呼んで懇親することが大事だと思う。今回、国の補助で船を建造購入したが、購入費の2分の1は補助いただけただけのも、先の森山農林水産大臣と鹿児島島の漁協組合長が発案して、実現できたと思っている。私たちも消波堤を20年も30年も陳情しているが一つも前に進まない。農業は年間430億円も補助が出ているが、漁業は1億円ほどしか出していない。</p> <p>大臣を動かして、遊子を発展させるために、国会議員などもっと懇親してほしいと思う。</p>	<p>漁業と比較すれば、農業の方が補助制度のメニューが多岐にわたっている印象があります。そのメニュー一つ一つの補助金額は、それほど大きなものではありませんが、多様な補助メニューの金額を合算すると、御意見のような金額に積み上がるのであろうと思います。</p> <p>例をあげますと、生産物が被害を受けた場合の保険に関する補助メニューなどについても農業分野は選択肢が多いという印象があります。その一方で、魚類養殖の赤潮被害などの保険については、共済制度も存在しますが、農業に比べて十分とは言いがたいと感じます。また、あくまでも私の印象ですが、高知県では、水産関係の各種補助制度の情報についても、漁業関係者に周知が行き届いており、本県よりも情報の周知がうまくいっているような印象を持っていました。本県においては、そのような補助制度について、関係者への周知が十分ではないためか、業界関係者が知らず、所管機関に問い合わせ初めて知るという事例も耳にしたことがあります。</p> <p>今後も、国会議員の皆様をはじめ、国・県の関係者とも交流を深め、その力添えもいただきながら、私自身まだまだ非力ではありますが、精一杯”想い”を伝えていく努力は続けていきたいと思っています。</p>	<p>—</p>	<p>水産課</p>

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
水荷浦段畑の維持について	<p>宇和島市も水荷浦の段畑を観光スポットとして、プッシュしていると思うが、担い手が高齢化しており、耕作者の負担軽減を考えてほしい。5年後、10年後どうなっているか心配している。耕作に興味がある人を市外から招くとかモノレールを増やすとか耕作者の立場で考えてほしい。</p>	<p>段畑のオーナー制度があり、少しでも手助けになればと思っていましたが、そのようなことではなく「人手をなんとか確保してほしい。このままでは石垣を維持できなくなってくる。」ということであると知らされました。</p> <p>市では観光の目玉として『水荷浦の段畑』を売り出していますが、観光地としての魅力を維持するために、具体的な支援をしているかと言えば、十分でないと承知しています。これまでの御要望も踏まえた上で、すぐに具体的な対策をお示しすることはできていませんが、皆様のお知恵もいただきながら対策を講じたいと思っています。</p>	<p>モノレール導入等で現在農林課で提案できる事業は、市単独土地改良事業です。受益農家3戸以上で、事業費10万以上（概ね100万未満）で、地元負担4割の事業です。</p> <p>外部からの耕作者誘致については、農林課でも県外からの就農希望者に対し、農業就業支援事業を行っていますが、現在のところ基幹産業である柑橘に限定をしています。こちらの事業が順調に進んでいくようであれば、段畑での野菜等の耕作で農家として独り立ちできるかの精査は必要ですが、対象作物を野菜まで拡大することは視野に入れています。ただ、柑橘でもそうですが、人を畑に入れただけで農家ができるわけではなく、一人前にするには地元の協力が絶対不可欠な条件となりますので、様々な事象を考慮しながら多角的に考えていきたいと思います。</p> <p>（農林課）</p>	<p>農林課 商工観光課</p>

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
<p>市民の所得を上げるアイデアについて</p>	<p>いろいろな施設が建設予定とあるが、宇和島市にお金はあるのか。市民の所得が上がれば、税金として潤うと思うが、市民の所得を上げるためのアイディアは？</p>	<p>第一次産業に力を入れるということは、直接的に所得を向上させることになると思います。そのために、行政がまずやるべきことはシティセールスだと思っています。企業等民間のお力もお借りしながら、まちを売り込まなければならないと考えておりますので、「宇和島市はどのようなまちなのか」シティブランディングを確立して、情報発信に力を入れていきます。</p> <p>また、マスコミの力などもお借りして、「本市を知っている。興味がある」という『関係人口』を増やし、その次には、宇和島に来てくれる『交流人口』を増やし、最後には『定住人口』につなげていこうという流れを作ろうと取り組んでいます。</p> <p>所得を上げる直接的な方法は、単純に宇和島産品を売っていくことですが、それだけでは十分ではなく、宇和島市が市内外から如何に注目されるかということだと思います。</p> <p>宇和島市の財政状況は合併当初は厳しいものでしたが、現在は、改善されております。今後も、国・県の補助金や有利な起債などを工夫をしながら活用し、財をどこに投資するのか適材適所にやっていきたいと考えておりますので御理解をいただきたいと思います。</p>	<p>—</p>	<p>市長公室 財政課</p>

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
<p>学校給食の地産地消について</p>	<p>給食の食材の宇和島産の使用率はどの程度か。給食は1食いくらか。限られた財源の中で、助成に8,000万円使うよりは地元産をもっと使うようにしてほしい。このことは子供の食育にも繋がると思う。原価、品質、仕入れ等の問題はあると思うが、うまく調整すれば、地元産を使うチャンスはあると思う。</p>	<p>学校給食の宇和島産品の使用率は非常に低いと認識しています。本市の学校給食費は、1食あたり、材料費が約260円程度、プラス光熱費・人件費などが加わると材料費の2倍程度になるのではないかと思います。学校給食食材の安定供給のためには、松山市にある愛媛県学校給食センターに頼っているところが多分にあると思います。</p> <p>食育という観点からすれば、保護者の御負担を1食あたり100円減額するよりも（負担はそのまま）1食あたりの食材費に行政から100円上乗せ補助をして、その100円分を地元食材に充当することが本来の食育であると思っています。</p> <p>学校給食において地元食材の使用率を向上させるということは、今後の大きな宿題だと認識していますので、しっかりと考えていきたいと思っています。</p>	<p>宇和島産食材の使用率は、使用食材の約18%程度になっています。代表的な食材としては、米・野菜・果実・魚介類・肉類（卵類含む）等です。特に米に関しては基本全て宇和島産の米を使用しており、特に三間の調理場は全て三間米を使用しています。（その米の購入はビタミンを混ぜ込んだ強化米を県学校給食会から購入していますが、量の確保ができないとの事で断念しています。）現在も宇和島産の食材をできる限り使用するために日々栄養士が献立で努力をしているところです。</p> <p>補助金としては、宇和島産の食材を使用した場合は一食50円を限度に補助金を出しており、地産地消補助金460万円（内100万円ぶりの照り焼きを使用）を予算化しています。給食センターとしても市内全域の給食を賄える量のある地元産の食材で、食材選定委員会（味・安全性・価格）をクリアできる食材を探しているところです。</p>	<p>学校給食センター</p>

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
<p>小中学校で農業、漁業の科目を新設することについて</p>	<p>13年前に小学生と一緒に段畑を開墾してジャガイモを作っている。宇和島には一次産業しかない中、小中学校の教科で農業、漁業という科目がないというのはいかがなものか。総合学習の時間の一部を活用して、農業や漁業の勉強をさせているが、総合学習の一部としてではなく、農業や漁業という科目を新設しないと本当の意味で本市の農業や漁業を教えることはできないと思う。水産高校や農業高校に進学した生徒でも、卒業後、農業や漁業に進むのは25%くらいしかいないと聞いている。農業、漁業という正規の科目がないことが、かなり影響していると考えている。</p> <p>教育は聖域で市長でもなかなか介入できないと思うが、市長の権限で農業や漁業の授業を増やしてもらいたい。</p>	<p>本市の教育現場にも様々な問題がある中で、まずは、教職員の先生方の過度な負担を取り除くことが先決だという思いで、先生たちの労働環境を整えているところです。また本日『高校生まちづくり課』が立ち上がりまして、市内の高校生たちが自ら地域のことを学び、これからのまちづくりに積極的に関わっていただきます。</p> <p>このような「ふるさと教育」あるいは「子供たちに宇和島を大好きになってもらう取り組み」などを、小学校・中学校の教育現場にもにもどんどん取り入れていくことを宣言させていただいています。地域のことを知り、学び、経験する社会教育を地道にやっていかなければならないと思っています。また、小学校の先生方の自主的な活動として『子ども観光大使』という事業を数年前から実施されており、子供たちが地域のことを知る場を提供いただいています。</p>	<p>教育課程は学習指導要領によって定められており、これには学校教育法の拘束もありますので、市が独自で教科を新しく作ることは困難です。ただし、総合的な学習の時間は、学校の独自性が生かされるので、この時間の活用を今後も指導していきたいと考えています。</p> <p>今年度は「地域連携」を活動の柱として掲げていますので、地域人材の活用を通して愛郷心につなげていきたいと考えています。また、従来の職場体験学習を3日間から5日に延ばしました。中学生の職場理解、地域理解につなげたいと考えています。</p>	<p>学校教育課</p>

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
ボート競技の活性化について	ボートは小学校、中学校の正課に（部活も）ない。サッカーやバスケットや野球と同じようにあれば、伝統のある宇和島東高のボート部ももっと活発になると思う。	どの競技においても「続けていける環境」があることで、活性化の一助になるものと思いますが、生徒数の減少とあわせて、部の新設には様々な条件等も関係すると思いますので、現状では難しいと思われます。	中学校については、生徒が減り従来の部活動運営も難しい状態でもありますので、中学校の部活動として新しく部を新設することは、現段階では難しいと思います。小学生については、季節に合った運動を推奨しており、いろいろなスポーツを通してスポーツの「よさ」を体感させたいと考えています。したがって中学校と同様にスポーツクラブや部活動については、現段階では考えていません。 (学校教育課)	学校教育課 文化・スポーツ課
松節トンネルの整備について	市中心部から遊子までの間で、離合できないトンネルは松節トンネルだけしかない。時間もかかり大変な事業になると思うが、ぜひ宇和島市の中長期計画に入れてほしい。	宇和海地区の市議会議員の方々からずっと陳情をいただいています。この地域の道路の中で一番の大変なところであると認識していますので、しっかり考えていきたいと思っています。	-	建設課
市長へ	尊敬する人は誰ですか。 座右の銘は何ですか。	父、母 です。 「前へ」 です。	-	-